



イスラエルの回復のために祈りましょう

イスラエルのイラン系のユダヤ人

人口;100,000 人

■イスラエルの活気あふれる街に、観光客がひしめく小さな店が軒を連ねている。これらの店には、ユダヤ人移民が世界各地からこの国に持ってきた、さまざまな美術品・民芸品が陳列されている。多くの観光客がエズラの店に足を留め、美しいペルシャじゅうたんに見入っている。エズラと彼の家族は、イランからの移民である。イスラエルには、現在、10 万人以上の数多くのイラン系ユダヤ人が住んでいる。

■ユダヤ人は、紀元前6世紀に、ユダ王国がバビロンに敗れたことがきっかけで、イランに住むようになった。彼らの豊かな歴史は、聖書のダニエル書、エズラ記、ネヘミヤ記などの書物に見いだすことができる。ユダヤ人は、イランにいるところは最大の非イスラム集団であったし、これまでの 500 年の歳月の中で、迫害と強制的な改宗にずっと抵抗してきたのである。

■1920 年代に、少数のイランのユダヤ人が迫害を逃れてパレスチナへやって来た。そのわずか 28 年後にイスラエルが建国すると、大勢の人々がこの国に押し寄せてきた。1948 年から 53 年までの間に、3万人近くのイランのユダヤ人が、イスラエルに帰還したのである。彼らの多くは貧困者であった。53 年以降の移民の数は上下したものの、79年、ホメイニがイランの政権を握るようになると、移民数は再び増加し、その年には7万人ものイラン系ユダヤ人がイスラエルに帰還したのである。とはいえ、現在、まだ2万5千人のユダヤ人がイランにとどまっている。また、イスラエルとイランのほかに、ロサンゼルスやニューヨークにも大きなイラン系ユダヤ人の共同体がある。

■イラン系ユダヤ人は、ペルシャ系ユダヤ人とも呼ばれ、主にテルアビブ周辺とエルサレムに定住している。みやげ物やじゅうたん、衣料品の商店を営んでいる人も多い。彼らはセファルディ系のユダヤ人と見なされているが、独自の組織やシナゴーク(礼拝の会堂)を持っている。信仰深い人もいるが、ほとんどは伝統を守っている

だけか、全く世俗的かである。イラン系ユダヤ人は「ミズラヒ」という東方のユダヤ伝統を守っている。信仰の厚い人は、毎年、さまざまな聖地や聖人の墓で祈るために巡礼する。イラン系ユダヤ人は、ほとんど全面的にイスラエルの文化を受け入れている。しかし、それと共に、「ロサブ・バック」というペルシャのダンス・音楽・料理の祭りにも参加している。

■ 家族はイラン系ユダヤ人の文化の中で、とても重要な役割を担う。その昔、イラン系ユダヤ人は大家族の中で暮らしていたが、今はそうした家族の規模も小さくなった。家族の長は父親で、息子は重要視されている。イラン系ユダヤ人の子どもたちは、十分に教育を受け、大学に進学する人も多い。イエシュア(イエス)を信じている人は、わずかながら、いる。そういった人たちは、イスラエルへの帰還時に、すでにイエシュアへの揺るがない信仰を持っている人が多い。



祈りの課題

☆ 自分たちの信仰に敵対する国での生活から生じた、彼らの中の恐怖の霊に立ち向かって。

☆ イスラエルにいるイラン系ユダヤ人が、メシア・イエシュア(イエス)にある、神のご計画と召しを成し遂げることができるように。

☆ イランにおける彼らの文化に影響を及ぼした、心霊主義に立ち向かって。

☆ イエシュアが自分のメシアであるということを、彼らが夢や幻、神からの啓示を通して、知ることができるように。

☆ イエシュア(イエス)が自分のメシアであることを、イラク系ユダヤ人が啓示を通して知ることができるように。

☆ 主が、彼らの中から、再び、エステルやダニエルのような人を起こしてくださるよう
に。

☆ 信仰を持つイラン系ユダヤ人が、彼らの共同体の中で光となるように。

